



2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月12日

上場会社名 東京テアトル株式会社
 コード番号 9633 URL <https://www.theatres.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 太田 和宏
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 松岡 毅
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-3355-1010

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	8,447	33.9	1,258		942		1,034	
2020年3月期第3四半期	12,770	1.6	246	119.7	319	60.9	245	

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 1,001百万円 (%) 2020年3月期第3四半期 478百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円銭	円銭
2021年3月期第3四半期	136.56	
2020年3月期第3四半期	31.98	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
2021年3月期第3四半期	23,816	12,336	51.7	1,634.57
2020年3月期	23,984	13,547	56.5	1,767.57

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 12,308百万円 2020年3月期 13,547百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
2020年3月期		0.00		10.00	10.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2021年3月期の配当予想につきましては、現時点では未定としております。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染拡大による影響を合理的に算定することが困難なことから、現時点では未定としております。業績予想の開示が可能となった段階で、速やかに開示いたします。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	8,013,000 株	2020年3月期	8,013,000 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	482,967 株	2020年3月期	348,647 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	7,572,557 株	2020年3月期3Q	7,677,753 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想に関する事項については、四半期決算短信[添付資料]3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

2021年3月期第3四半期連結累計期間（2020年4月1日～2020年12月31日、以下「当四半期（累計）」といいます。）における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、社会経済活動が大きく制限され景気は急速に悪化いたしました。社会経済活動の再開が段階的に進められ、景況感は持ち直しが見られるものの、新型コロナウイルスの感染再拡大により景気の下振れが懸念される等、依然先行きは不透明な状況が続いております。

このような経済環境のもと、当四半期（累計）の連結業績は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により映像関連事業及び飲食関連事業の業績が急激に悪化し売上高8,447百万円（前年同期比33.9%減）、営業損失1,258百万円（前年同期は営業利益246百万円）、経常損失942百万円（前年同期は経常利益319百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失1,034百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益245百万円）となりました。

■連結経営成績（百万円）

	前年同期	当四半期（累計）	増減
売上高	12,770	8,447	△4,323
営業利益	246	△1,258	△1,504
経常利益	319	△942	△1,261
親会社株主に帰属する四半期純利益	245	△1,034	△1,279

セグメント別の業績概況は以下のとおりです。

なお、当社は、2020年6月12日に「映像関連事業」セグメントにおいて字幕版・吹替版の制作を行うアクシー株式会社の発行済株式90%を取得し、連結子会社といたしました。

■セグメント別外部売上高（百万円）

	前年同期	当四半期（累計）	増減
映像関連事業	3,352	1,930	△1,421
飲食関連事業	4,942	2,597	△2,344
不動産関連事業	4,476	3,918	△557
計	12,770	8,447	△4,323

■セグメント別営業利益（百万円）

	前年同期	当四半期（累計）	増減
映像関連事業	112	△486	△598
飲食関連事業	78	△917	△996
不動産関連事業	642	693	+51
調整額	△586	△547	+39
計	246	△1,258	△1,504

<映像関連事業>

(映画興行事業)

8月公開の『3年目のデビュー』や10月公開の『劇場版「鬼滅の刃」無限列車編』など一部の作品が高稼働いたしました。全体的に低調に推移したことや、自治体からの要請に伴い4月から6月上旬にかけて全館を休館したこと、営業再開後も感染予防対策として客席の間引き販売を行ったことなどから前年同期比で大幅な減収となりました。

2020年10月18日に「シネ・リーブル神戸」は、4スクリーンの内1スクリーンの営業を終了いたしました。当四半期末の映画館数及びスクリーン数は、前年度末から1スクリーン減の9館23スクリーンです。

(映画配給事業)

主力作品『それいけ！アンパンマン』が公開延期になったことや、配給した作品がいずれも厳しい結果となったことから前年同期比で大幅な減収となりました。

(ソリューション事業)

新規クライアントや新規商材の開拓に取り組んだものの、既存クライアントからの番組出稿やイベントプロモーション、シネアド等、従来の広告受注が大幅に減少し、前年同期比で大幅な減収となりました。

以上の結果、映像関連事業の売上高は1,930百万円（前年同期比42.4%減）となり、営業損失は486百万円（前年同期は営業利益112百万円）となりました。

<飲食関連事業>

（飲食事業）

自治体からの要請に伴い全店で休業や営業時間短縮を行い、5月上旬より感染予防措置を講じた上で順次営業を再開いたしましたが、外出及び会食の自粛、感染再拡大による度重なる営業時間の短縮等、居酒屋業態を取り巻く環境は厳しい状況が続いており、前年同期比で大幅な減収となりました。

当四半期末における飲食店の店舗数は下表のとおりです。

■飲食店の店舗数

	前年度末	当四半期末	増減
焼鳥専門店チェーン「串鳥」	44	44	0
串焼専門店「串鳥番外地」他	5	5	0
都内ダイニング&バー	8	6	△2
飲食店 合計	57	55	△2

*2020年10月16日に「アオヤマ・マルマーレ」を、同年12月30日に「リビングバー新宿」を閉店いたしました。

以上の結果、飲食関連事業の売上高は2,597百万円（前年同期比47.4%減）となり、営業損失は917百万円（前年同期は営業利益78百万円）となりました。

<不動産関連事業>

（不動産賃貸事業）

賃貸ビルにおいて高稼働を維持し、前年同期並みの売上高となりました。

（中古マンション再生販売事業）

販売件数が若干減少したことに加えて、低価格帯物件の販売が中心となったことから、前年同期比で減収となりました。

以上の結果、不動産関連事業の売上高は3,918百万円（前年同期比12.5%減）となりましたが、不動産賃貸事業においてテナントの入替が減少しコストが低下したことや、不動産販売においては仲介会社を通さない直接仕入れが増えたことで利益率が改善し、営業利益は693百万円（前年同期比8.0%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産の部）

資産合計は、前年度末と比べて167百万円減少し、23,816百万円となりました。これは、流動資産その他が227百万円、のれんが166百万円増加しましたが、現金及び預金が408百万円減少したこと、有価証券が200百万円減少したこと等によるものです。

（負債の部）

負債合計は、前年度末と比べて1,042百万円増加し、11,480百万円となりました。これは、有利子負債が823百万円増加したこと等によるものです。

（純資産の部）

純資産合計は、前年度末と比べて1,210百万円減少し、12,336百万円となりました。これは、利益剰余金が1,110百万円減少したこと等によるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、引き続き未定としております。新型コロナウイルス感染拡大の影響を合理的に見積もることが、現時点でも困難と判断したためです。今後、算定が可能となった時点で速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,783,651	3,375,065
受取手形及び売掛金	466,185	476,488
有価証券	200,000	—
商品	209,370	221,482
販売用不動産	1,281,706	1,382,666
貯蔵品	23,230	27,417
その他	597,757	824,766
貸倒引当金	△486	△386
流動資産合計	6,561,415	6,307,500
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,552,477	4,475,446
機械装置及び運搬具(純額)	32,874	33,246
工具、器具及び備品(純額)	254,960	234,684
土地	9,977,189	9,977,617
リース資産(純額)	58,843	42,904
有形固定資産合計	14,876,345	14,763,899
無形固定資産		
借地権	34,237	34,237
ソフトウェア	55,153	44,057
のれん	—	166,306
その他	3,776	3,995
無形固定資産合計	93,167	248,596
投資その他の資産		
投資有価証券	1,684,345	1,729,208
長期貸付金	440	220
差入保証金	411,508	409,390
繰延税金資産	238,950	221,885
その他	208,410	211,455
貸倒引当金	△90,085	△75,651
投資その他の資産合計	2,453,569	2,496,509
固定資産合計	17,423,082	17,509,006
資産合計	23,984,497	23,816,506

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	829,758	767,996
短期借入金	40,000	190,000
1年内償還予定の社債	—	180,000
1年内返済予定の長期借入金	1,017,044	1,217,289
リース債務	35,957	35,634
未払金	379,229	1,801,712
未払法人税等	49,719	42,074
前受金	168,551	144,238
賞与引当金	174,820	79,533
その他	399,665	700,404
流動負債合計	3,094,746	5,158,881
固定負債		
社債	380,000	200,000
長期借入金	2,714,926	3,214,900
リース債務	57,633	31,008
長期未払金	1,157,800	1,500
長期預り保証金	826,405	582,160
繰延税金負債	310,117	353,037
再評価に係る繰延税金負債	850,717	850,717
退職給付に係る負債	923,653	956,034
資産除去債務	121,192	131,816
固定負債合計	7,342,445	6,321,175
負債合計	10,437,191	11,480,057
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,552,640	4,552,640
資本剰余金	3,737,647	3,737,647
利益剰余金	4,064,938	2,954,160
自己株式	△553,136	△712,915
株主資本合計	11,802,089	10,531,532
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,307	38,944
土地再評価差額金	1,737,910	1,737,910
その他の包括利益累計額合計	1,745,217	1,776,855
非支配株主持分	—	28,062
純資産合計	13,547,306	12,336,449
負債純資産合計	23,984,497	23,816,506

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	12,770,783	8,447,050
売上原価	9,143,633	6,685,838
売上総利益	3,627,149	1,761,212
販売費及び一般管理費		
役員報酬	160,365	181,133
広告宣伝費	45,834	19,993
人件費	1,906,913	1,672,586
賞与引当金繰入額	72,223	47,475
退職給付費用	49,024	51,467
賃借料	260,966	257,525
水道光熱費	168,249	120,667
その他	717,372	668,580
販売費及び一般管理費合計	3,380,950	3,019,430
営業利益又は営業損失(△)	246,199	△1,258,218
営業外収益		
受取利息	1,023	33
受取配当金	77,730	62,701
助成金収入	—	272,542
貸倒引当金戻入額	18,108	14,534
その他	5,354	18,761
営業外収益合計	102,217	368,572
営業外費用		
支払利息	27,265	27,843
借入関連費用	693	13,383
その他	935	11,429
営業外費用合計	28,894	52,656
経常利益又は経常損失(△)	319,522	△942,302
特別損失		
投資有価証券評価損	—	266
固定資産除却損	5,589	8,122
減損損失	2,886	6,354
事業所閉鎖損失	—	3,215
特別損失合計	8,475	17,959
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	311,047	△960,261
法人税、住民税及び事業税	52,834	14,214
法人税等調整額	12,662	58,957
法人税等合計	65,497	73,171
四半期純利益又は四半期純損失(△)	245,549	△1,033,433
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	700
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	245,549	△1,034,134

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	245,549	△1,033,433
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	232,588	31,637
その他の包括利益合計	232,588	31,637
四半期包括利益	478,138	△1,001,795
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	478,138	△1,002,496
非支配株主に係る四半期包括利益	—	700

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。